

授業科目名 <英訳>	文化行為論 A Cultursl practices A				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 田中 雅一					
配当 学年	3,4回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	月2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
<b>[授業の概要・目的]</b>											
文化行為論は日常実践に焦点を絞る文化・社会人類学である。そして日常実践を複数の権力が作用するアリーナととらえることで、「未開」、宗教、環境、暴力、ジェンダー、セクシュアリティなどの諸概念を再考する。											
<b>[到達目標]</b>											
一見普遍的と思われる価値観の相対的な性格、あるいは文化・社会依存的な性格について理解を深め、私たちを取り巻く社会状況についての批判的な視点を獲得することを目指す。											
<b>[授業計画と内容]</b>											
最初に現代人類学の状況を概括し、異文化を理解することの意義を考える。その後は、ジェンダー・セクシュアリティと文化とが交錯する領域をテーマとする。 1-3週)文化人類学の変貌、ジェンダーとセクシュアリティの人類学、女性への暴力 4-7週)ジェンダー儀礼： 男子割礼、女子割礼FGM 8-10週)女性への暴力： サティー（寡婦殉死）と名誉殺人、酸攻撃(acid attack) 11-14週)セックスワークと人身売買、結婚 15週)まとめ											
<b>[履修要件]</b>											
文化人類学に関するほかの講義を受けていることが望ましい。											
<b>[成績評価の方法・観点及び達成度]</b>											
平常点、とくに小レポートと授業内での発言 60パーセント 期末レポート 40パーセント											
<b>[教科書]</b>											
使用しない											
<b>[参考書等]</b>											
(参考書) 田中雅一ほか編 『ジェンダーで学ぶ文化人類学』（世界思想社） 田中雅一ほか編 『ジェンダーで学ぶ宗教学』（世界思想社） 田中雅一 『癒しとイヤラシ エロスの文化人類学』（筑摩書房） 各テーマについては授業中に資料を配布し、参考文献を紹介する。											
----- 文化行為論 A(2)へ続く -----											

## 文化行為論 A (2)

### ( 関連URL )

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~shakti/>(田中雅一のホームページ)

### [授業外学習 ( 予習・復習 ) 等]

授業では映像作品の上映や討論が中心となるため、関連する文献や配布資料を授業の前後に読んでおくこと。

### ( その他 ( オフィスアワー等 ) )

使用する映像資料の中には心身にきわめて不快な影響をおよぼすシーンが多出するものも含まれています。鑑賞するかどうか、また上映中の退出は本人の判断に任せます。

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~shakti/> 田中雅一のホームページ

オフィスアワーは特に設けない。問い合わせやアポイントは [shakti@zinbun.kyoto-u.ac.jp](mailto:shakti@zinbun.kyoto-u.ac.jp) で受けつける。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。